

開成幼稚園って こんなところ！

開成幼稚園では、心豊かでたくましく生き生きとした子どもの育成を目指し、子どもたちの普段の生活の中に様々な取り組みを取り入れています。開成幼稚園の取り組みの一部を紹介します。

作りたての温かい給食

園の栄養士が献立を考え、園内の給食室で調理します。地元食材を取り入れ、食育にも力を入れています。



たくさんの仲間とともに

他学級や他学年との交流により、多くの仲間を作ることができます。卒園後、希望者は全員町内の小学校に入学します。

遊びは学び

自分の興味のある遊びをほとんど追求することが、深い学びにつながります。

様々な交流活動

町内の小学生や中学生、高校生との様々な交流や体験学習を進めています。

感性を養う教育

外部講師による外国語活動や合唱指導、読み聞かせ等、様々な人々との触れ合いや体験を通して豊かな感性を育みます。



▲吉田島高校生と弥一芋の収穫



保護者参加の充実

保護者参観や親子参加行事等を通して、子どもの成長を保護者と一緒に見守ります。

特集

開成幼稚園へ ようこそ！



問 教育総務課 ☎82-5221

開成町では、町の幼児教育をさらに充実させるため、来年4月から開成幼稚園で3年間教育を始めます。

これにより、開成幼稚園の入園対象幼児は、現在の4歳～5歳児から、3歳～5歳児に広がります。

町では、3歳児を対象とした年少クラスを新設するにあたって、教育体制を整えたり、園舎の改修をしたりといった様々な準備を進めてきました。

また、これまで3歳児に対して幼稚園で毎週3回実施してきた「のびのび子育てルーム」は、3歳児が保護者から離れて幼稚園で活動することを通して子どもの自立や育ちに繋がっており、ご家庭からも好評を頂いてきました。

こうしたのびのび子育てルームの活動を通して培った様々なノウハウを生かしながら、開成町らしい3年間教育を進めていきます。

今月は、そんな新たなスタートを切る開成幼稚園の取り組みや魅力をご紹介します！



遊びの中で学ぶ、身につける

開成町教育長 井上 義文

園児は「遊び」の中から、生きていくために必要な資質や能力を育んでいきます。例えば「泥団子づくり」を思い浮かべてみてください。「土は濡れるとぬるぬるする」ということは『知識』に、「もっと丸い団子を作りたくって、工夫を始めた」ということは『思考』に、「もっとつやのある団子を作りたい」という意欲は『学びに向かう

力』に繋がっていきます。

こうした「遊び」一つひとつの積み重ねが、知らぬ間に園児たちの資質や能力の習得や伸長に繋がっていきます。「たかが遊び、されど遊び」なのです。開成幼稚園では、こうした子どもたちの「遊び」を大切な活動と捉え、日々の教育にあたっています。



「すてきさん」を目指して

開成町立開成幼稚園長 米山 孝

開成幼稚園では、目指す子ども像を町名「かいせい」にちなみ次のように定めています。そして、このような園児を「すてきさん」と呼んでいます。

開成幼稚園が目指す子ども像

- ・かंगाえる子
- ・いたわり、おもいやりのある子

- ・せいっぱいがんばる子
- ・いきいきした子

当園は、全ての園児がこの「すてきさん」になれるよう、大切な学びである「遊び」に興味を持ち、夢中になれるための環境作りや、子どもの意欲を持続させ、遊びを広げ深めるための援助に力を注いでいます。

